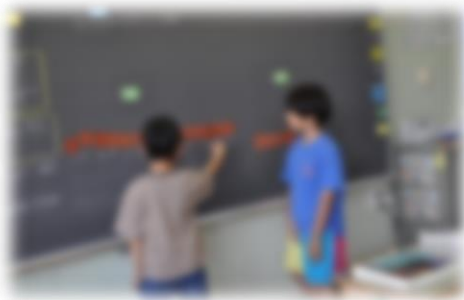




今求められる力

6月初旬、寒空の中で無事に大運動会も終了し、どの学年も日常的な学校生活が戻ってきています。先生方も大運動会で得た経験をもとに、さらに子どもたちをステップアップさせようと授業改善に一生懸命取り組んでいます。さて、表題にもある通り、**今の子どもたちにはどんな力を身につけさせるべきなのか？**改めて考えてみます。



子どもたちが成長し活躍するであろう2050年には、日本の人口は1億人を切り、人口の1割は外国人になっていると言われます。また、AIを各企業が積極的に活用し、分野を超えた連携が進むとされています。そのような**変化の激しい社会の中で生涯にわたって学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りできる力、そして持続可能な社会の創り手としての力が必要**と言われています。そんな力を身につけさせる教育の実現のため、令和12年に新しい学習指導要領が小学校で完全実施されます。現在は「**論点整理**」と呼ばれる中央教育審議会でも話し合われる重点についてまとめたものに沿って本校でも授業改善が進められています。特に「**主体的・対話的で深い学びの実装**」という重点に基づき、**主体的に学習進度を調節し、協働学習にどのように取り組ませるか**ということについて工夫を重ねながら授業が行われています。

教室をのぞいてみると、自分の分かったことを相手に分かるように自分の言葉で説明する姿や、まだ理解できていない友だちに自分の解き方を説明する姿などをよく見かけます。最初うまく伝わらないこともあります。あきらめずに言い方や言葉を変えながら伝えると「あっわかった！なるほどね！」なんて声も聞こえてきます。理解できなかった子が友だちのおかげで理解できたという経験も大切ですが、**友だちに伝えた子が自分で理解したことを自分の言葉で表現することで考えが整理され、より深い理解につながる**ということが大切なのです。今後も少人数の良さを活かし、たくさん子どもたちが協働し、伝え合う授業を目指します。



あぐり最近の様子

「あぐり活動」が本格スタートしてから早 1 か月が経過しました。作物は毎日コツコツと水やりを忘れずに続ける子どもたちの愛情に応え、順調に大きくなっています。途中いくつかの苗がカラスにイタズラされるといった被害も受けましたが、これも勉強です。対策としてかなりインパクトのある 2 体のかかしと使わなくなった CD、そして高橋さん提供による鳥よけカイトを設置しました。



今のところ効果はバツグンのようです。玉ねぎ・トウモロコシ班は鬼崎さんのご協力により PH 測定器を使い、作物が育つのに最適な PH になっているのか調べました。土の酸性、アルカリ性を調べながら作物を育てる経験はなかなかできるものではありません。今後も探究的なあぐり活動が続きます。



7月の行事予定

1	水	修学旅行1日目
2	木	修学旅行2日目
3	金	6年生回復休業
4	土	
5	日	
6	月	放課後子ども広場 あぐり活動予備日
7	火	教材費納入日
8	水	治水の杜づくり授業
9	木	児童会⑥ 読み聞かせ(低・中学年) 治水の杜づくり授業予備日
10	金	参観日
11	土	放課後子ども広場
12	日	
13	月	水泳学習③
14	火	あぐり活動⑦
15	水	ナウマン号
16	木	あぐり活動予備日
17	金	大正小と交流学習(2~4年)
18	土	
19	日	
20	月	海の日
21	火	ALT⑥ サポセン教室(5,6年)
22	水	
23	木	水泳学習④
24	金	1学期終業式 大掃除 PTA夏まつり
25	土	夏季休業スタート(~8/24)
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

